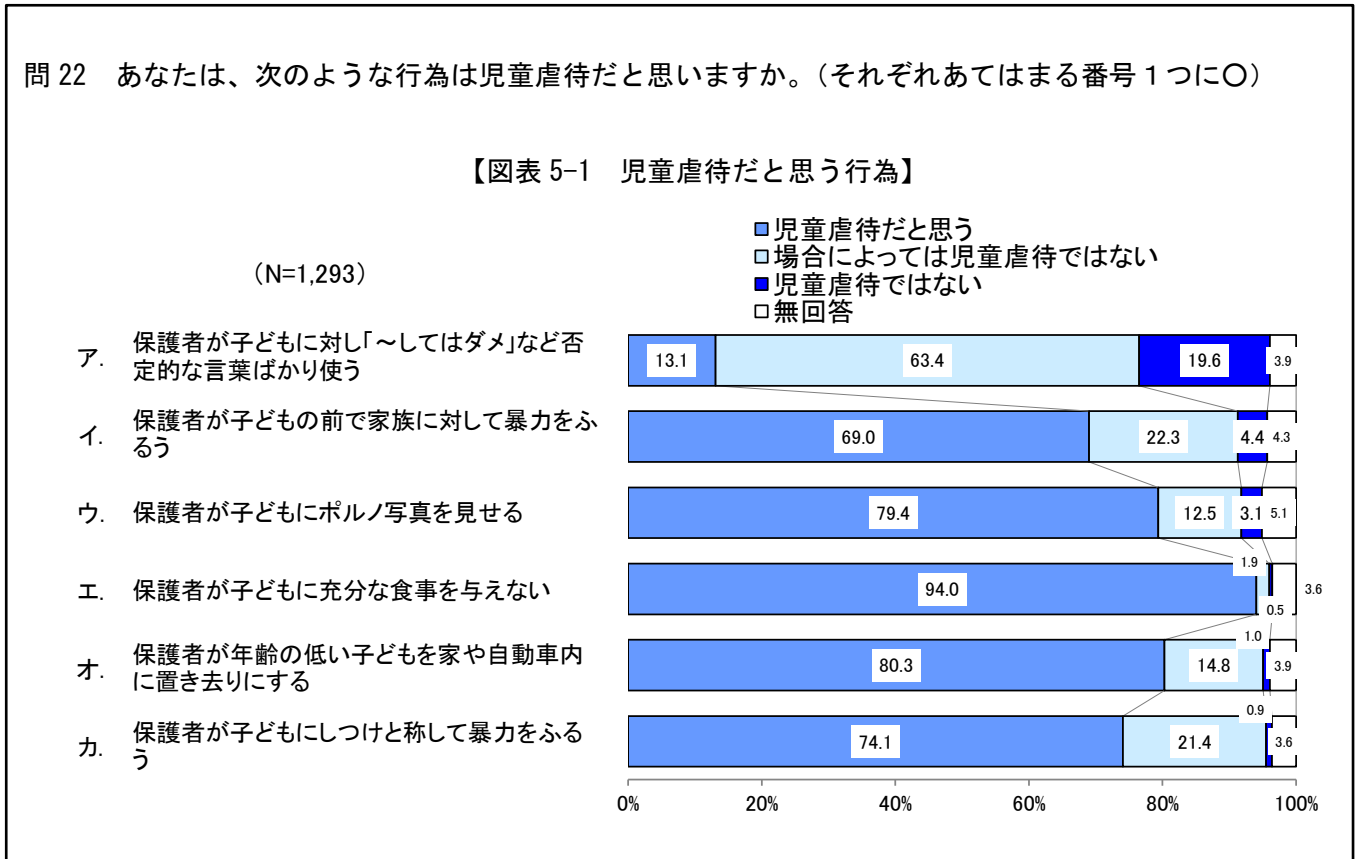


## 5 子どもの人権について

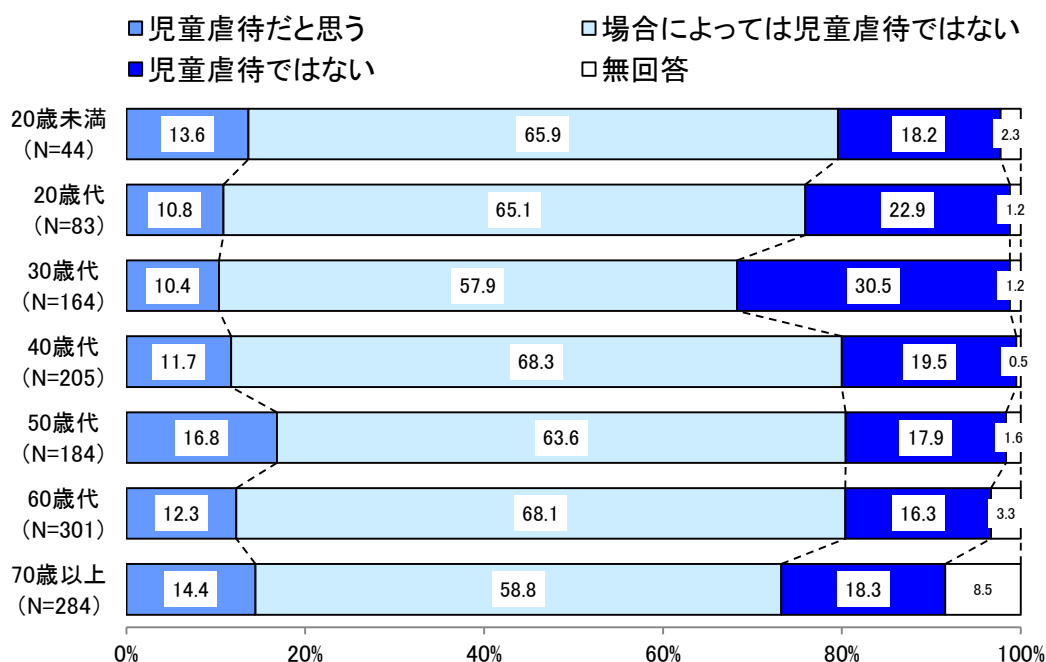
### (1) 児童虐待だと思ふ行為



児童虐待だと思ふ行為について、「場合によっては児童虐待ではない」が過半数を占めている項目は「ア. 保護者が子どもに対し「～してはダメ」など否定的な言葉ばかり使う」(63.4%)となっている。

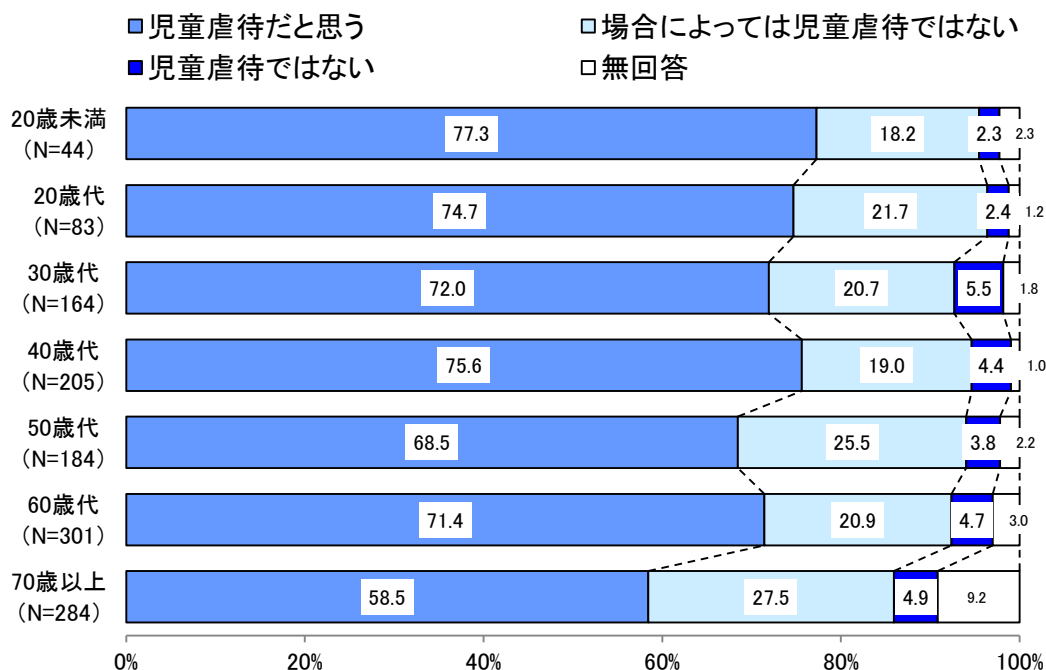
「児童虐待だと思ふ」が過半数を占めている項目は、その割合が高い順に「エ. 保護者が子どもに十分な食事を与えない」(94.0%)、「オ. 保護者が年齢の低い子どもを家や自動車内に置き去りにする」(80.3%)、「ウ. 保護者が子どもにポルノ写真を見せる」(79.4%)、「カ. 保護者が子どもにしつけと称して暴力をふるう」(74.1%)、「イ. 保護者が子どもの前で家族に対して暴力をふるう」(69.0%)、となっている。(図表 5-1)

【図表 5-1-1 年齢別 ア. 保護者が子どもに対し「～してはダメ」など否定的な言葉ばかり使う】



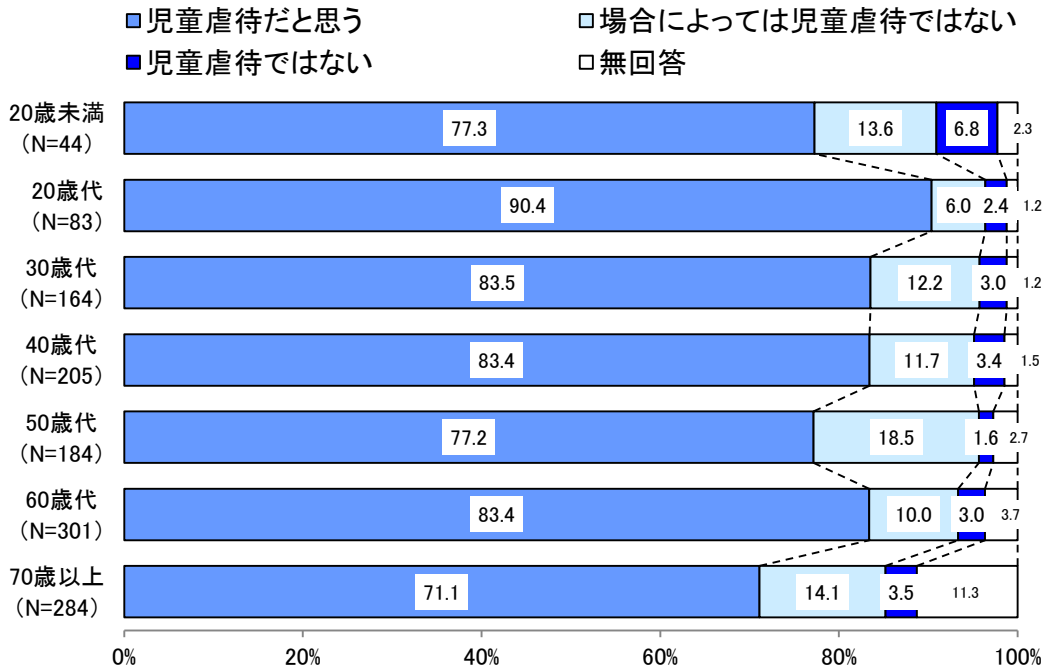
「ア. 保護者が子どもに対し「～してはダメ」など否定的な言葉ばかり使う」を年齢別で見ると、いずれの年齢でも「児童虐待だと思う」は1割台となっている。30歳代は「児童虐待ではない」が約3割と高くなっている。(図表 5-1-1)

【図表 5-1-2 年齢別 イ. 保護者が子どもの前で家族に対して暴力をふるう】



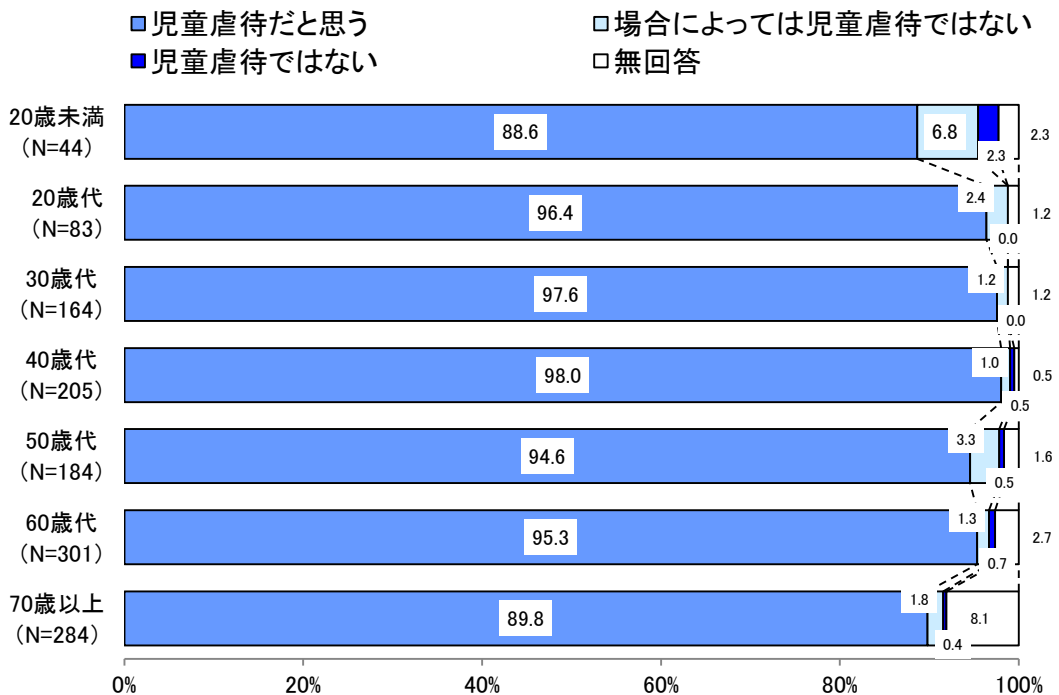
「イ. 保護者が子どもの前で家族に対して暴力をふるう」を年齢別で見ると、「児童虐待だと思う」は60歳代以下では7割前後だが、70歳以上では6割を下回っている。(図表 5-1-2)

【図表 5-1-3 年齢別 ウ. 保護者が子どもにポルノ写真を見せる】



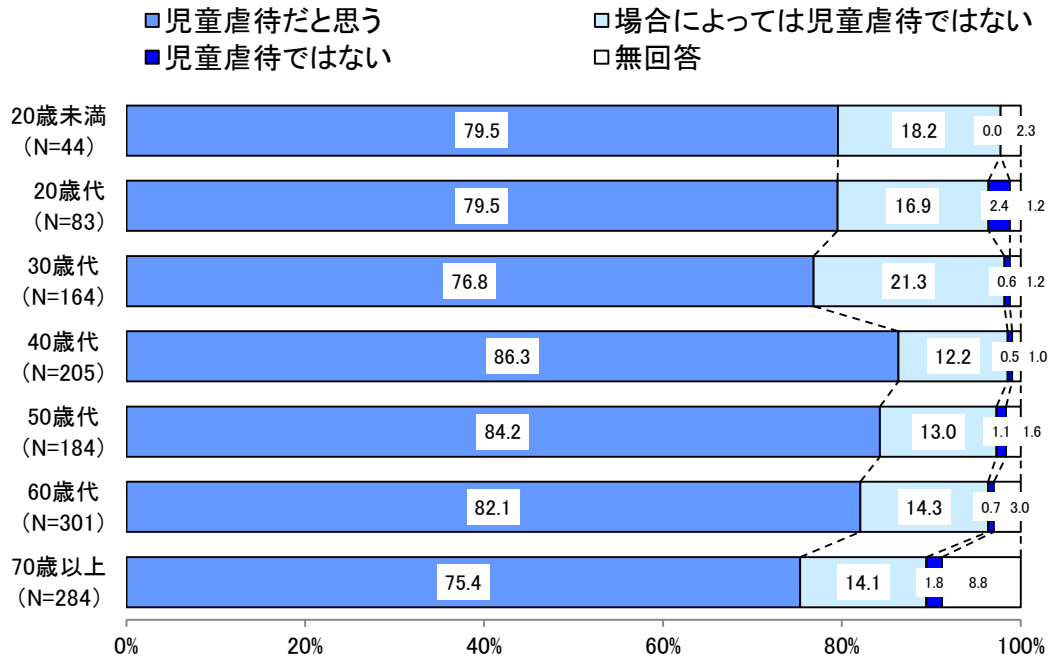
「ウ. 保護者が子どもにポルノ写真を見せる」を年齢別でみると、「児童虐待だと思う」は20歳代が90.4%で最も高く、70歳以上が71.1%で最も低くなっている。(図表 5-1-3)

【図表 5-1-4 年齢別 エ. 保護者が子どもに十分な食事を与えない】



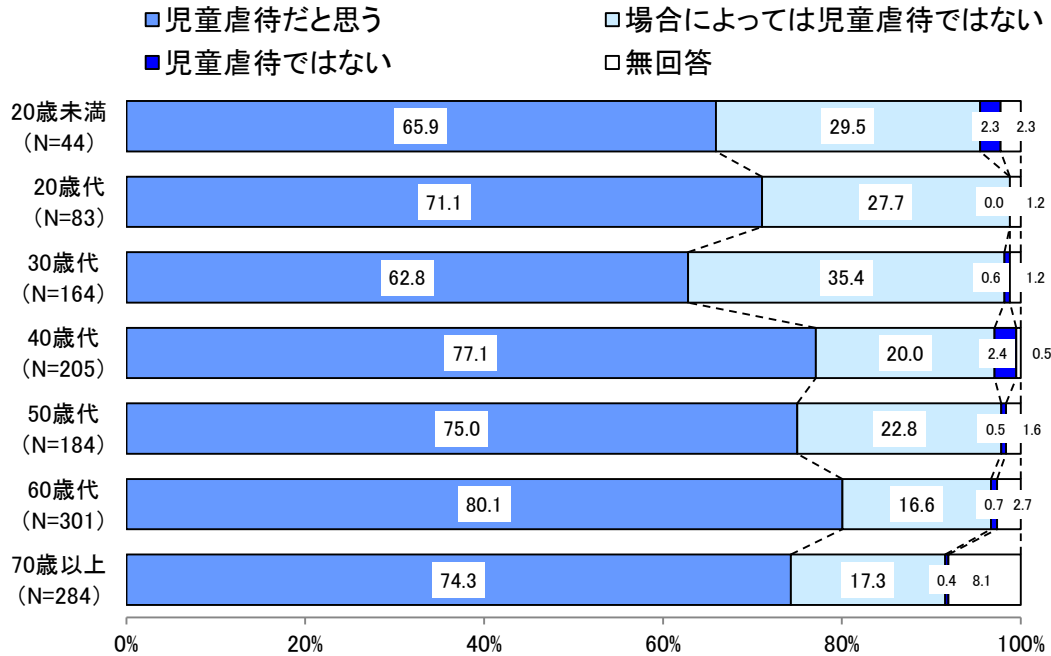
「エ. 保護者が子どもに十分な食事を与えない」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「児童虐待だと思う」が9割前後となっている。(図表 5-1-4)

【図表 5-1-5 年齢別 オ. 保護者が年齢の低い子どもを家や自動車内に置き去りにする】



「オ. 保護者が年齢の低い子どもを家や自動車内に置き去りにする」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「児童虐待だと思う」が7割を超えている。「場合によっては児童虐待ではない」は40歳代以上では1割あまりだが、30歳代以下では2割前後となっている。(図表 5-1-5)

【図表 5-1-6 年齢別 カ. 保護者が子どもにしつけと称して暴力をふるう】



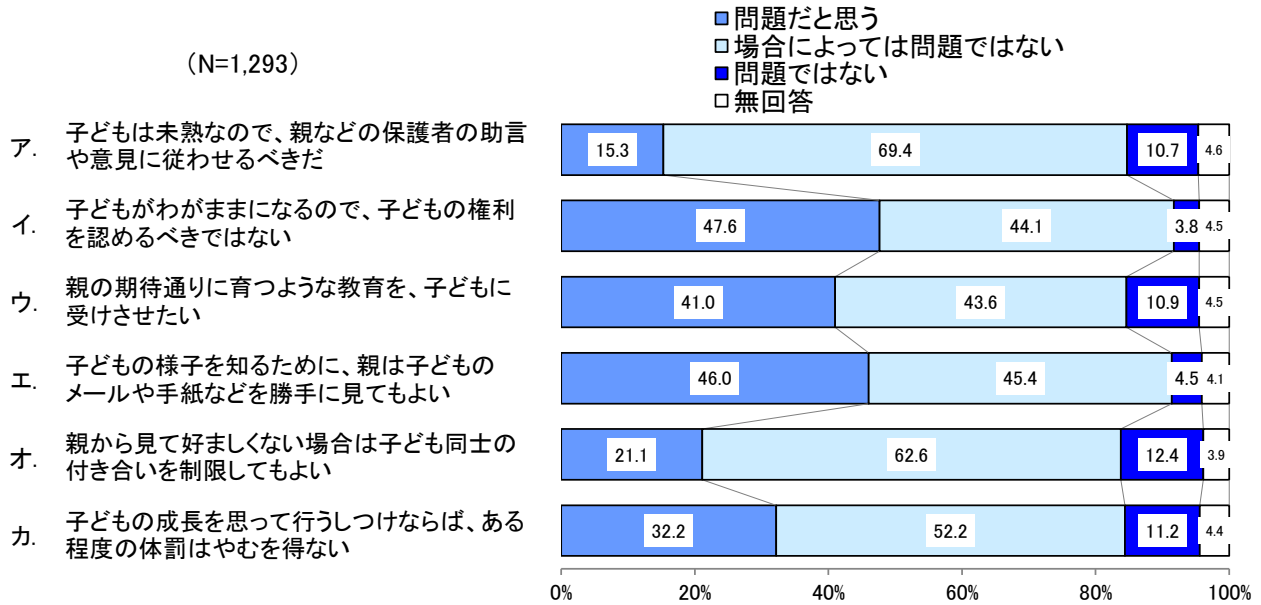
「カ. 保護者が子どもにしつけと称して暴力をふるう」を年齢別でみると、いずれの年齢でも「児童虐待だと思う」が6割を超えている。「場合によっては児童虐待ではない」は40歳代以上では2割前後だが、30歳代以下では3割前後となっている。(図表 5-1-6)

(2) 子どもに対する人権問題についての考え方

問 23 次のようなことについて、あなたはどのように思いますか。  
(それぞれあてはまる番号 1 つに○)

【図表 5-2 子どもに対する人権問題についての考え方】

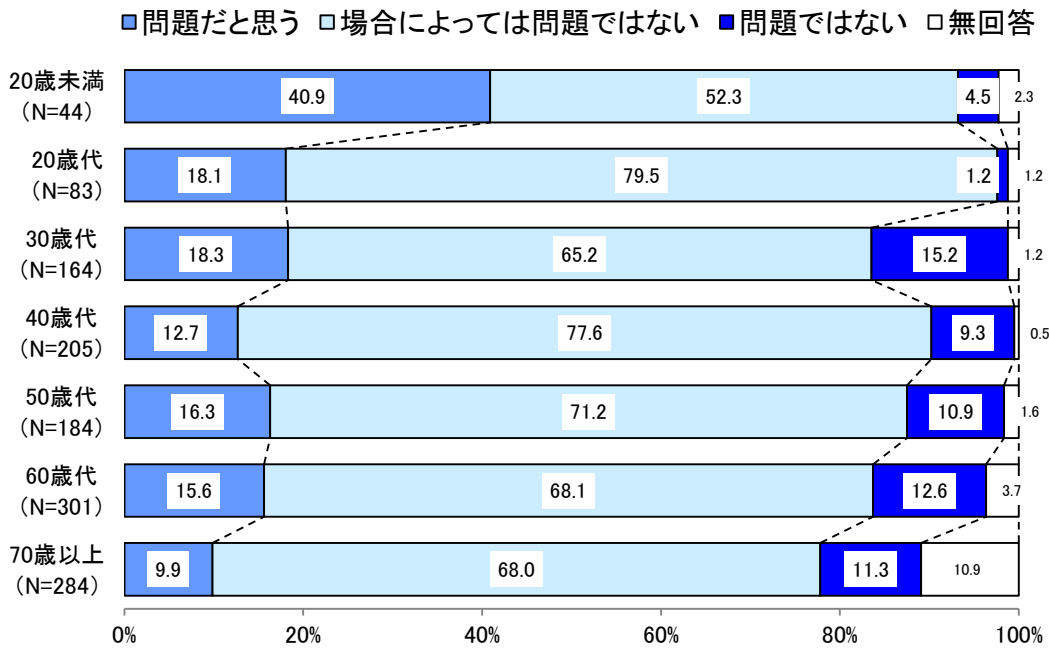
(N=1,293)



子どもに対する人権問題についての考え方として、「問題だと思う」が過半数を占める項目はなく、いずれの項目でも“問題ではない”（「場合によっては問題ではない」と「問題ではない」を合わせた数）が「問題だと思う」を上回っている。

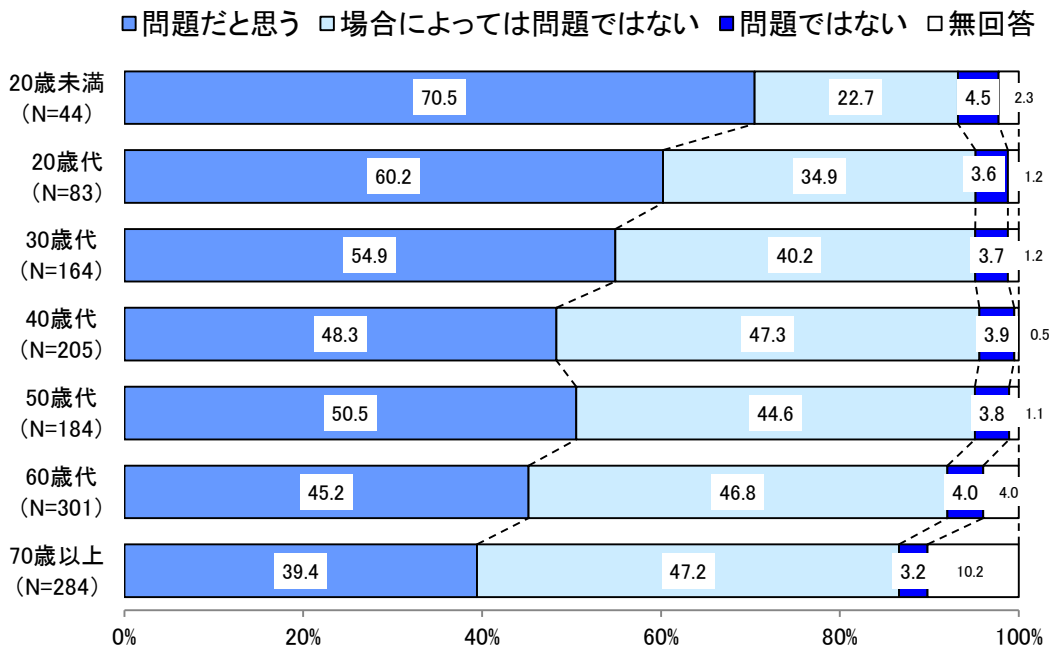
「問題だと思う」が高い項目は順に「イ. 子どもがわがままになるので、子どもの権利を認めるべきではない」（47.6%）、「エ. 子どもの様子を知るために、親は子どものメールや手紙などを勝手に見てもよい」（46.0%）、「ウ. 親の期待通りに育つような教育を、子どもに受けさせたい」（41.0%）、「カ. 子どもの成長を思っているしつけならば、ある程度の体罰はやむを得ない」（32.2%）、「オ. 親から見て好ましくない場合は子ども同士の付き合いを制限してもよい」（21.1%）、「ア. 子どもは未熟なので、親などの保護者の助言や意見に従わせるべきだ」（15.3%）となっている。（図表 5-2）

【図表 5-2-1 年齢別 ア. 子どもは未熟なので、親などの保護者の助言や意見に従わせるべきだ】



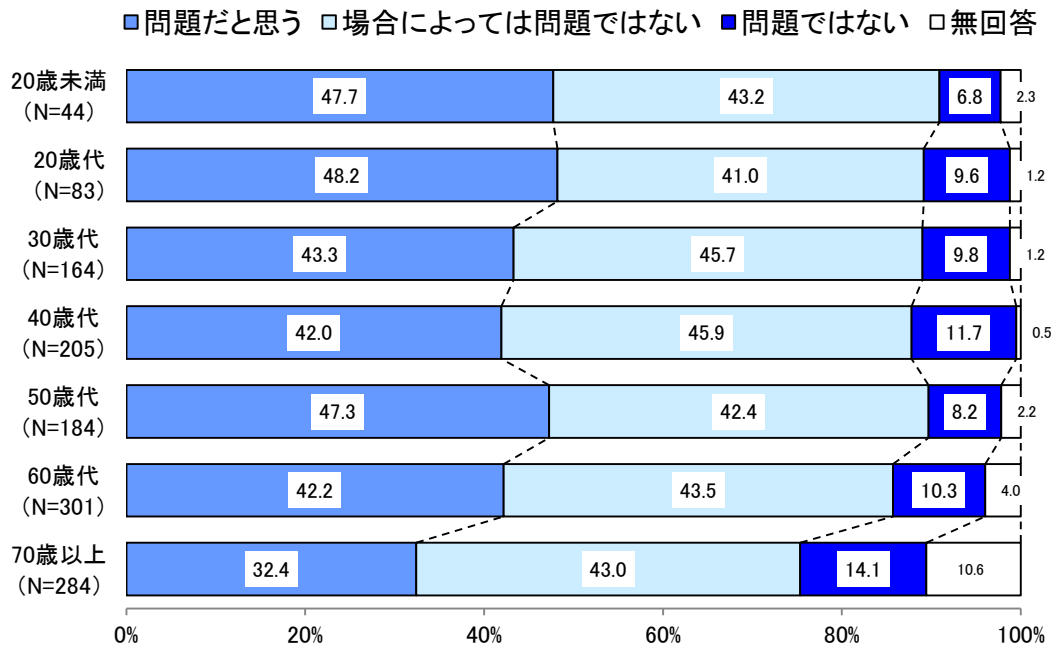
「ア. 子どもは未熟なので、親などの保護者の助言や意見に従わせるべきだ」を年齢別でみると、「問題だと思う」は20歳未満では約4割だが、20歳代以上では2割を下回っている。30歳代は「問題ではない」が15.2%で、他の年齢に比べてやや高くなっている。(図表 5-2-1)

【図表 5-2-2 年齢別 イ. 子どもがわがままになるので、子どもの権利を認めるべきではない】



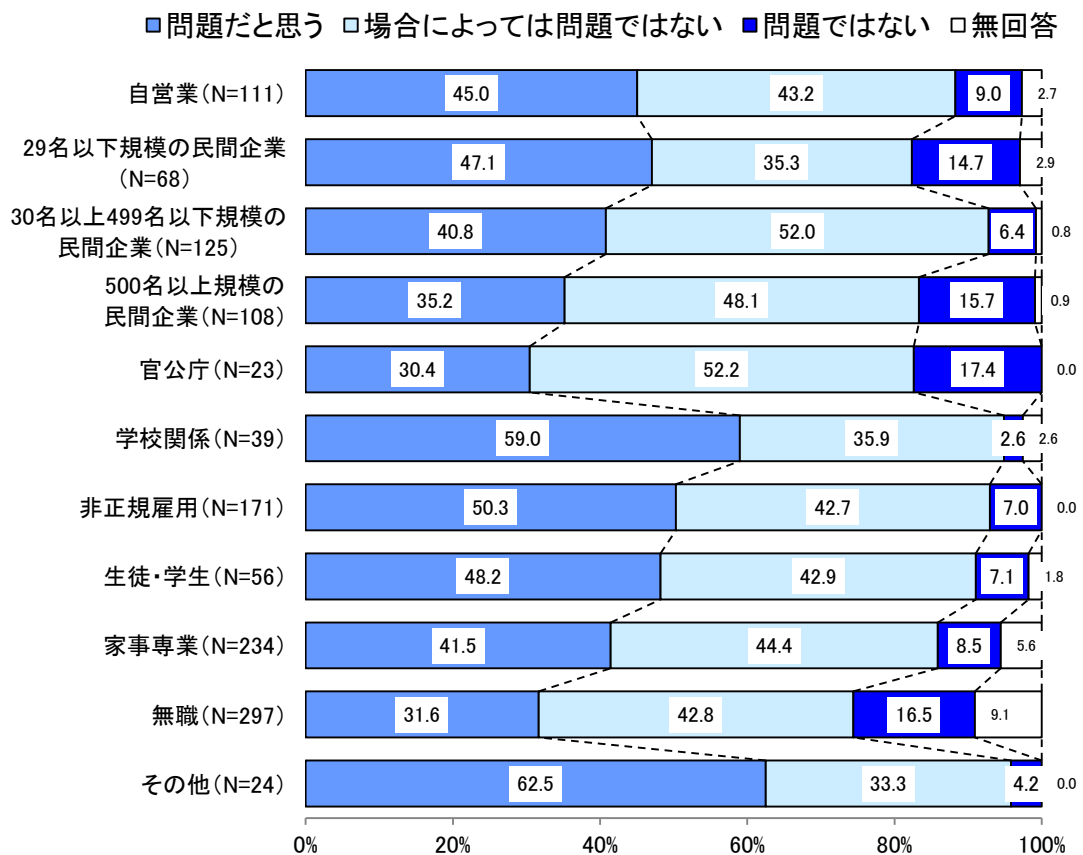
「イ. 子どもがわがままになるので、子どもの権利を認めるべきではない」を年齢別でみると、「問題だと思う」はおおむね年齢が上がるにつれて低くなっており、20歳未満では70.5%だが、70歳以上では39.4%にとどまっている。(図表 5-2-2)

【図表 5-2-3 年齢別 ウ. 親の期待通りに育つような教育を、子どもに受けさせたい】



「ウ. 親の期待通りに育つような教育を、子どもに受けさせたい」を年齢別でみると、「問題だと思う」は 60 歳代以下では 4 割台、70 歳以上では 3 割台となっている。(図表 5-2-3)

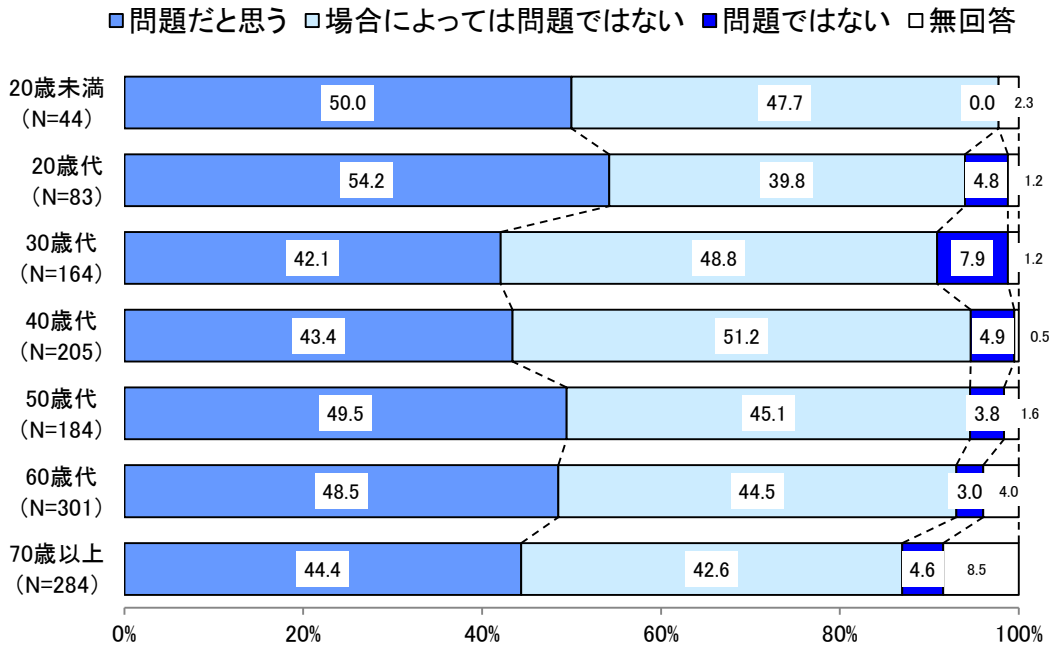
【図表 5-2-4 職業別 ウ. 親の期待通りに育つような教育を、子どもに受けさせたい】



「ウ. 親の期待通りに育つような教育を、子どもに受けさせたい」を職業別でみると、500 名以上規模の民間企業、官公庁、無職は「問題だと思う」が 3 割台で、それ以外の職業に比べて低くなっている。(図表 5-2-4)

【図表 5-2-5 年齢別 エ. 子どもの様子を知るために、

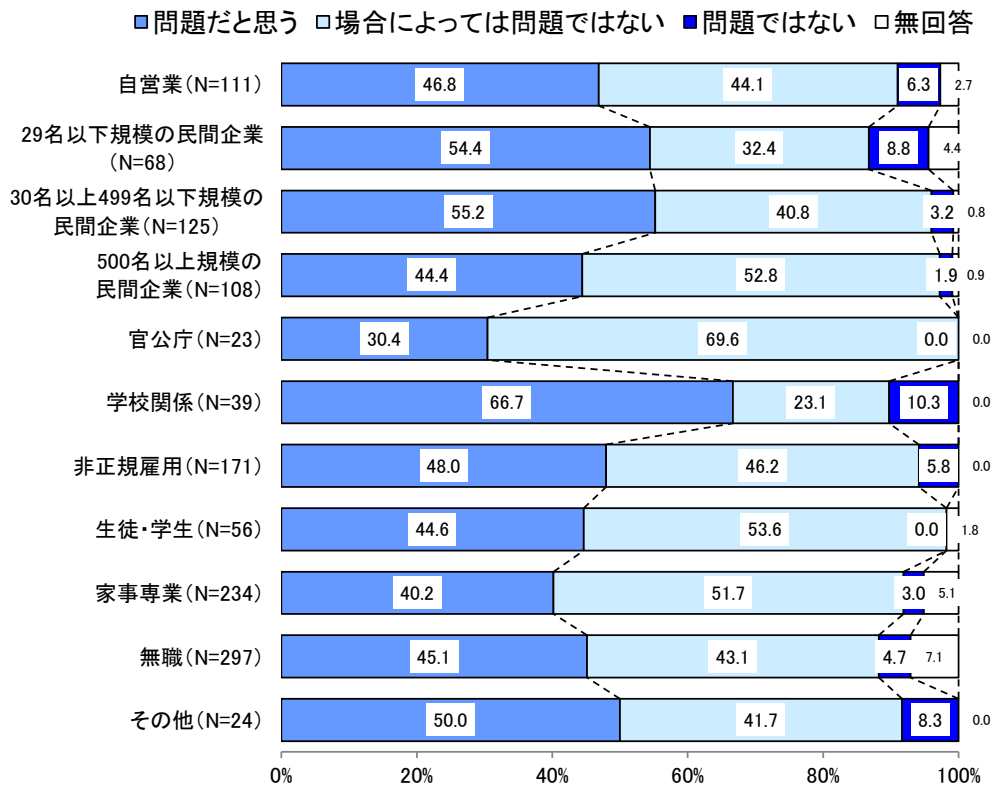
親は子どものメールや手紙などを勝手に見てもよい】



「エ. 子どもの様子を知るために、親は子どものメールや手紙などを勝手に見てもよい」を年齢別でみると、30歳代、40歳代、70歳以上は「問題だと思う」が4割あまりで、それ以外の年齢と比べてやや低くなっている。(図表 5-2-5)

【図表 5-2-6 職業別 エ. 子どもの様子を知るために、

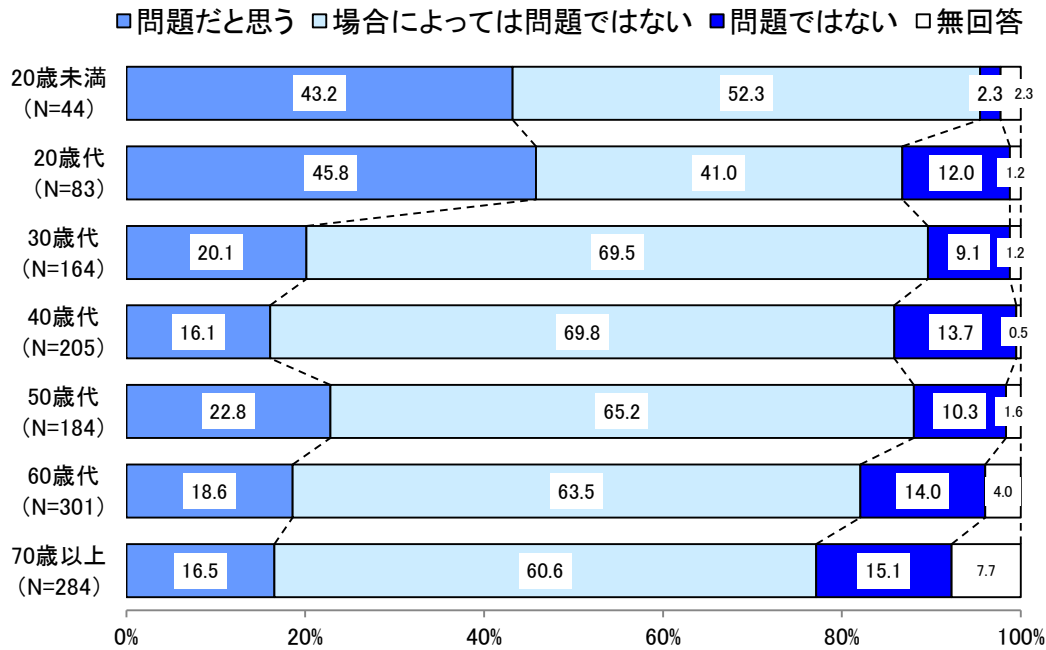
親は子どものメールや手紙などを勝手に見てもよい】



「エ. 子どもの様子を知るために、親は子どものメールや手紙などを勝手に見てもよい」を職業別でみると、官公庁は「問題だと思う」が30.4%で、それ以外の職業と比べて低くなっている。(図表 5-2-6)

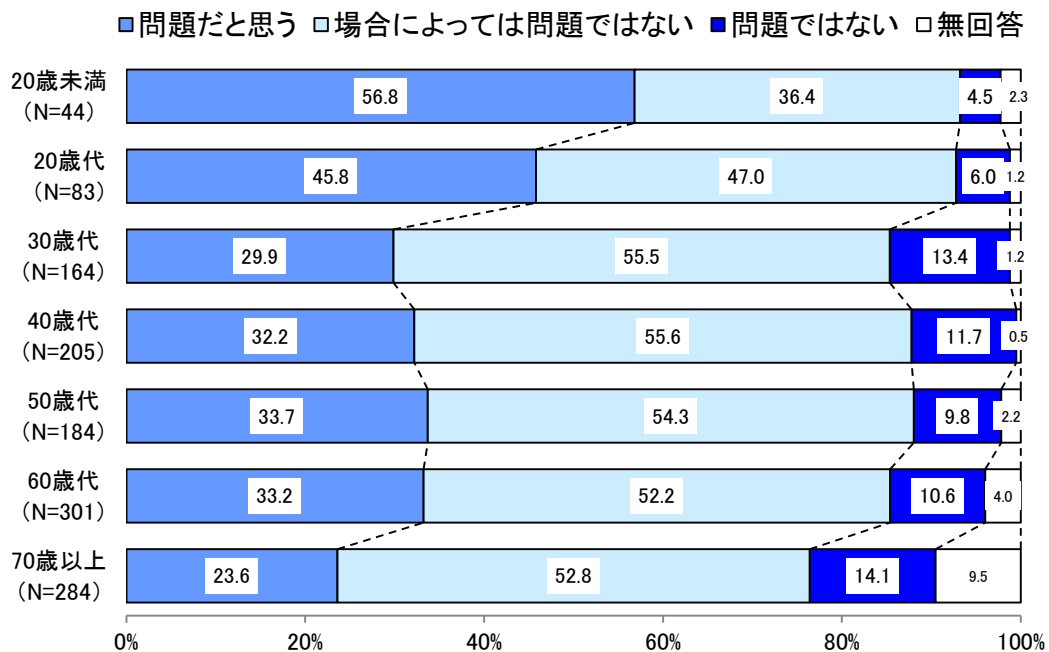
【図表 5-2-7 年齢別 オ. 親から見て好ましくない場合は子ども同士の付き合いを制限してもよい】





「オ. 親から見て好ましくない場合は子ども同士の付き合いを制限してもよい」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は20歳代以下では4割を超えているが、30歳代以上では2割前後となっている。(図表 5-2-7)

【図表 5-2-8 年齢別 カ. 子どもの成長を思っているしつけならば、ある程度の体罰はやむを得ない】



「カ. 子どもの成長を思っているしつけならば、ある程度の体罰はやむを得ない」を年齢別で見ると、「問題だと思う」は20歳未満では過半数、20歳代では4割を超えているが、30歳代~60歳代では3割前後、70歳以上では2割あまりにとどまっている。(図表 5-2-8)